



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月9日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5261 URL <https://www.resol.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大澤 勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 齊藤 達男 TEL 03-3344-8861  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 2024年6月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	25,717	16.6	2,122	554.8	1,947	936.4	1,411	95.3
2023年3月期	22,061	5.5	324	△52.7	187	△76.1	722	52.5

(注) 包括利益 2024年3月期 1,414百万円 (90.0%) 2023年3月期 744百万円 (33.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	254.13	—	10.0	4.5	8.3
2023年3月期	130.11	—	5.4	0.5	1.5

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	43,003	14,666	34.0	2,634.33
2023年3月期	42,663	13,526	31.6	2,430.35

(参考) 自己資本 2024年3月期 14,635百万円 2023年3月期 13,501百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	3,610	△1,280	△3,963	3,590
2023年3月期	1,419	1,260	△908	5,224

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00	277	38.4	2.1
2024年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00	444	31.5	3.2
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	90.00	90.00		33.3	

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	5.0	2,200	3.6	2,000	2.7	1,500	6.2	270.00

(注) 2025年3月期につきましては年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社、除外 一社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
② ①以外の会計方針の変更： 無  
③ 会計上の見積りの変更： 無  
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	5,564,200株	2023年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期	8,695株	2023年3月期	8,840株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	5,555,544株	2023年3月期	5,555,206株

(注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については添付資料20ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（1株当たり情報）」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	4,996	11.9	△14	—	54	195.0	87	△83.2
2023年3月期	4,464	10.8	12	△98.3	18	△97.7	520	△59.8

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	15.71	—
2023年3月期	93.73	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2024年3月期	31,621	10,116	10,116	10,306	32.0	1,821.00	1,821.00	
2023年3月期	34,786	10,306	10,306	10,306	29.6	1,855.25	1,855.25	

(参考) 自己資本 2024年3月期 10,116百万円 2023年3月期 10,306百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	20
(その他) .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### <事業の経過及び成果>

当連結会計年度におけるわが国経済は、賃金と物価の好循環や雇用環境の改善により緩やかな回復が続いています。一方で、中国経済の先行き懸念や、金融資本市場の変動、中東地域をめぐる情勢など海外経済の影響による下振れリスクも一部に見られます。当社グループを取り巻く環境においては、インバウンドマーケットの拡大が続くほか、国内旅行需要の好調、企業の人的資本投資拡大による研修需要の増加、健康意識の高まりによるスポーツ活動の広がりなど堅調な状況が続いています。

このような経営環境のもと、日本政府が『観光先進国』として掲げる「2030年にインバウンドを6,000万人」とする目標や、ゴルフプレーヤーの最大ボリュームゾーンである60代～70代において今後10年間のプレー継続が見込まれることなどを追い風に、ホテル・ゴルフ事業を展開するインバウンド銘柄のプライム上場企業としての強みを活かした経営戦略で事業を推進しました。さらに、中長期の成長事業として、ゴルフコースに隣接した眺望抜群のヴィラでプライベート空間と開放感が同時に楽しめる“フェアウェイフロントヴィラ事業”、「滞在型貸別荘」を提案する“リソルステイ事業”、リソルの森内で新設準備を進めている“ペットヴィラ事業”など、宿泊の多様化に対応した新規事業を推進しました。

同時に、グループの価値基準「あなたのオフを、もっとスマイルに。」と長期方針「3つのやさしい（人にやさしい・社会にやさしい・地球にやさしい）」の実践を徹底し、各事業においてサービス体制を強化してお客様の満足度向上を図りました。

以上の結果、ホテルをはじめとする運営事業の売上高増加に加え、投資再生事業が収益に寄与したことにより、売上高は25,717百万円（前期比16.6%増）、営業利益は2,122百万円（前期比554.8%増）、経常利益は1,947百万円（前期比936.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,411百万円（前期比95.3%増）となりました。

事業のセグメント別の主な状況は、以下のとおりでございます。

#### <ホテル運営事業部門>

ホテル運営事業では、旺盛なインバウンド需要について、マーケットに合わせたプロモーション施策を各ホテルで積極的に実施したことで客室単価・稼働率が順調に推移。また、2023年4月の「ホテルリソルステイ秋葉原」の運営開始やコロナ禍で運営を休止していた「リソルボシュテル東京浅草」の運営再開もあり、インバウンド利用が大幅に伸び、業績は好調に推移しました。同時に、女性・旅行者・中長期滞在をターゲットとした“ツーリストホテル”への転換を目指し、新たなコンセプトとして「物語のあるホテル」を掲げました。「Design」（それぞれの土地に根差した文化や芸術をデザインに昇華）に加え、「Concierge」（体験価値の提供）、「Eatwell Breakfast」（管理栄養士監修の健康的でおいしい朝食）、「Relaxation」（ホテル本来の目的である“くつろぎ”を提供）を新たな強みとしたブランディングを図り、サービスや品質の向上に取り組みました。

新規事業の“リソルステイ事業”では、「暮らすように泊まる。」をコンセプトとした貸別荘「スイートヴィラ」の新規開業に注力したことで施設数は70施設に拡大しました。新たな別荘需要創出を目指し、利用ニーズに応じて選べる3つの滞在パターン（ウイークリー・マンスリー・デイリー）を推進した結果、中長期利用やインバウンド利用が増加し、宿泊数は順調に推移しました。

以上の結果、ホテル運営事業部門における売上高は12,349百万円（前期比64.2%増）、経常利益は1,235百万円（前期は経常損失1,152百万円）となりました。

#### <ゴルフ運営事業部門>

ゴルフ運営事業では、コースコンディションの上質化、接客サービス向上、施設の更新、口コミ評価の向上など、他社との差別化を図る施策を強化したことで客単価の向上につながりました。また、前年度末より新たに運営開始した4コースや2023年9月から運営を開始した「人間カントリー倶楽部」が順調に稼働し、さらに「関西カントリークラブ」、「三木よかわカントリークラブ」の会員権販売が好調となったことで、業績は順調に推移しました。

新規事業である“フェアウェイフロントヴィラ”事業は、「スパ&ゴルフリゾート久慈」「瀬戸内ゴルフリゾート」に続く、新たなヴィラ開発を「大熱海国際ゴルフクラブ」において計画し、中長期を見据えたインバウンドゴルファーにも対応できる高級ゴルフリゾートとしての開発準備を進めています。

以上の結果、コースコンディションの上質化などで客単価アップに努めましたが、エネルギー他コスト高騰の要因もあり、ゴルフ運営事業部門における売上高は8,084百万円（前期比32.7%増）、経常利益は1,070百万円（前期比56.1%増）となりました。

#### <リソルの森(CCRC)事業部門>

リソルの森(CCRC)事業では、グループのランドマーク施設である体験型リゾート「Sport & Do Resort リソルの森」の運営とエリア内の不動産販売の両輪で事業を展開しました。ゴルフ部門（真名カントリークラブ）では、リゾートエリアに滞在しながらゴルフを楽しむ「ゴルフ&ステイプラン」の利用において海外からの旅行者が増加し、大きく伸びました。真名ゲーマー・プレーヤーコースでは12月より開始したランチブッフェが好評となり、来場者増へとつながりました。リゾート部門では企業研修やスポーツチームなどの団体利用が大幅に増加したことで、料飲実績、会議室の利用、チームビルディングプログラムの利用が順調に推移しました。特に企

業研修において、コミュニケーションとプライベートを両立できる宿泊施設「ハイブリッドコテージ」が好評となりました。不動産部門ではエリア内の土地やマンションの販売が順調に推移。また、新規事業として新たなペットヴィラ「Dear Wan Spa Garden」(全10棟、2024年秋開業予定)の開発準備を順調に進めています。

以上の結果、リソルの森事業部門における売上高は3,658百万円(前期比4.8%増)、経常利益は243百万円(前期比31.0%増)となりました。

#### <福利厚生事業部門>

福利厚生事業では、人材需給逼迫による採用や定着策の強化が求められる中、さらなる人財の活用に向けて、健康経営<sup>®</sup>、ダイバーシティ経営、人的資本経営を後押しすべく、福利厚生制度の見直し提案と時流に即した商品造成に注力しました。また、会員の利便性向上策として2024年1月には国内最大手のJTBが提供する宿泊サイトと連携したことで提携宿泊施設が飛躍的に増加しました。同時に、競合他社との差別化である「精算ビジネスモデル」(利用実績に応じて補助金を精算・返金する透明性の高い料金体系)、「プラスユアチョイス」(提携外の施設も利用可能なカスタマイズ性の高いプラン)、「直営施設」(ホテル・ゴルフ場等の優待価格、出張・企業研修の限定プランの提供)を武器に新規顧客開拓に注力したことで、新規受注が大幅に増加しました。

以上の結果、福利厚生事業部門における売上高は903百万円(前期比3.3%増)、経常利益は45百万円(前期比1,423.5%増)となりました。

\*「健康経営<sup>®</sup>」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

#### <再生エネルギー事業部門>

再生エネルギー事業では、売電事業および太陽光設備用地の賃貸事業、施設管理受託事業を展開。売電事業については、リソルの森の施設内において1.5MWの太陽光設備を運営し、年間約140万KWの売電を行いました。また、太陽光設備用地の賃貸事業、施設管理受託事業においては、福島県石川町のメガソーラー設備用地の賃貸事業と同施設を含めた2か所のメガソーラー施設の管理受託業務を推進しました。今後はこれまで培った知見を活かし、新たにゴルフ場を中心とした地産地消型を展開し、「地球にやさしい」企業グループを実践します。

以上の結果、再生エネルギー事業部門における売上高は97百万円(前期比22.7%減)、経常利益は1百万円(前期比96.5%減)となりました。

#### <投資再生事業部門>

投資再生事業では、旧ゴルフ場を用途変更し、販売用不動産としておりました当該太陽光発電用地を売却しました。また、新規に1つのゴルフ場を取得し、運営施設のバリューアップを図ります。さらに、ヴィラ建設によるリゾート型再生、既存ゴルフ場の一部を含めたゴルフ場の再生可能エネルギー用地への転用、海外へのホテル及びゴルフ事業の展開等、今後も新規事業構築を推進します。

以上の結果、投資再生事業部門における売上高は624百万円(前期比84.2%減)、経常利益は40百万円(前期比96.8%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、前年同期比340百万円増加し、43,003百万円となりました。有形固定資産が2,422百万円増加したものの、現金及び預金が1,633百万円減少、販売用不動産が307百万円減少したこと等が主な要因です。

負債につきましては、前年同期比799百万円減少し、28,336百万円となりました。預り保証金が1,146百万円増加したものの、短期借入金が1,400百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が584百万円減少したこと等が主な要因です。

純資産につきましては、前年同期比1,139百万円増加し、14,666百万円となりました。利益剰余金が1,135百万円増加したこと等が主な要因です。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加が3,610百万円、投資活動による資金の減少が1,280百万円、財務活動による資金の減少が3,963百万円により当連結会計年度期首残高より1,633百万円減少いたしました。

その結果、当連結会計年度末は3,590百万円となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果、増加した資金は3,610百万円となりました。

これは主に税金等調整前当期純利益の増加1,608百万円、減価償却費の増加1,057百万円、その他の資産の減少575百万円があったこと等によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果、減少した資金は1,280百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出1,026百万円、無形固定資産の取得による支出205百万円があったこと等によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果、減少した資金は3,963百万円となりました。

これは主に短期借入金の純減額1,484百万円、預り保証金の純減額1,175百万円があったこと等によるものです。

<キャッシュ・フロー指標のトレンド>

	第127期 2020年3月期	第128期 2021年3月期	第129期 2022年3月期	第130期 2023年3月期	第131期 2024年3月期
自己資本比率(%)	32.1	34.8	34.5	31.6	34.0
時価ベースの自己資本比率(%)	45.5	59.8	62.5	62.6	70.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	△5.9	3.1	7.7	12.5	4.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	△23.3	16.8	7.4	5.4	16.8

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

インバウンド需要の大幅な拡大を背景に、当社グループを取り巻く環境は好調な状況が続くと見込まれます。当社グループといたしましては、インバウンドマーケットを見据えた経営戦略で、ホテル運営事業はもちろんのこと、ゴルフ運営事業・リソルの森事業においてもインバウンド需要の取り込みを加速し、事業を拡大してまいります。

ホテル運営事業においては、独自の強みを活かしたツーリストホテルとしてのブランディング強化を図ります。また、収益性の改善に向けた直販比率向上の施策として、スマートフォンアプリを活用したグループ共通の会員制度を通じた販促を2024年度より本格的に始動予定としています。

ゴルフ運営事業においては、当面は市場の活況が見込まれるものの、将来的な国内プレーヤー人口減少への対策として、インバウンド集客体制を業界に先駆けて整備します。ゴルフプレーヤーはもちろん、観光を目的とした旅行者にも対応したゴルフリゾートを目指し「フェアウェイフロントヴィラ」事業を強化していきます。

さらに、財務の健全性を意識しながら、戦略的なM&Aによるゴルフ場の取得と計画的なホテルの新店での新規運営施設の展開や、新規事業(フェアウェイフロントヴィラ・リソルステイ・ペットヴィラ・カプセルホテルキャビン等)の推進、海外への事業進出の検討などにより継続的な事業拡大を進めてまいります。

エネルギー・原材料等のコスト高騰への対応が迫られる中、仕入れの統一化、ソーラーカーポートを活用した自家消費型太陽光発電等、コスト削減への対応を一層強化します。また、国内旅行やインバウンド需要拡大による運営スタッフの人材不足が懸念されるため、採用力の強化やDX化、オペレーションの共通化などで業務の効率化に努めます。

次期の見通しとしては、ホテル運営事業の更なるインバウンド需要の取込み、当期取得したゴルフ場の通期での稼働など、通期の業績予想としては、売上高27,000百万円、営業利益2,200百万円、経常利益2,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,500百万円を見込んでおります。

なお、2025年度3月期につきましては年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、企業価値の更なる増大を目指し、収益性の高い事業への投資に充当するための内部留保の充実を図るとともに、事業環境や業績・財政状態の推移を見据えた上で、配当水準の維持向上に努めております。

当期の1株当たり配当金は期末80円配当を予定しております。また、次期の1株当たりの配当金は、期末90円配当の見込みです。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則(第7章及び第8章を除く)」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づいて作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,224,298	3,590,943
営業未収入金(純額)	1,459,430	1,824,756
商品	115,314	121,333
販売用不動産	2,222,141	1,914,885
貯蔵品	97,022	106,140
その他	1,772,957	1,182,068
流動資産合計	10,891,164	8,740,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,676,791	7,038,488
機械装置及び運搬具(純額)	446,476	531,394
工具、器具及び備品(純額)	579,147	620,381
土地	16,510,546	18,605,316
リース資産(純額)	1,500,456	1,233,801
建設仮勘定	67,057	173,234
有形固定資産合計	25,780,475	28,202,617
無形固定資産		
のれん	364,497	311,392
リース資産	19,327	9,645
その他	461,811	615,822
無形固定資産合計	845,636	936,860
投資その他の資産		
投資有価証券	311	311
繰延税金資産	1,256,908	1,271,115
差入保証金	3,330,117	3,339,288
その他(純額)	558,632	513,501
投資その他の資産合計	5,145,970	5,124,216
固定資産合計	31,772,082	34,263,694
資産合計	42,663,246	43,003,822



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	326,723	373,653
短期借入金	3,400,000	2,000,000
1年内返済予定の長期借入金	3,721,384	3,137,318
リース債務	300,105	263,643
未払法人税等	229,946	148,139
賞与引当金	164,212	262,911
役員賞与引当金	9,000	20,000
その他	3,697,649	4,129,609
流動負債合計	11,849,021	10,335,277
固定負債		
長期借入金	8,933,808	8,718,080
リース債務	1,433,360	1,159,674
繰延税金負債	26,270	23,951
退職給付に係る負債	412,851	389,584
従業員特別補償引当金	9,850	103,850
資産除去債務	202,417	194,844
長期末払金	15,374	12,846
長期預り金	88,106	87,050
預り保証金	6,165,188	7,311,771
固定負債合計	17,287,227	18,001,653
負債合計	29,136,249	28,336,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,242,908	2,244,531
利益剰余金	7,313,477	8,449,203
自己株式	△21,396	△22,046
株主資本合計	13,483,077	14,619,776
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	18,388	15,268
その他の包括利益累計額合計	18,388	15,268
非支配株主持分	25,531	31,847
純資産合計	13,526,997	14,666,891
負債純資産合計	42,663,246	43,003,822

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	22,061,525	25,717,173
売上原価	9,190,361	7,888,020
売上総利益	12,871,163	17,829,152
販売費及び一般管理費	12,546,941	15,706,240
営業利益	324,221	2,122,912
営業外収益		
受取利息	65	36
受取保険金	71,469	17,054
雇用調整助成金	36,284	—
その他	82,961	73,113
営業外収益合計	190,781	90,204
営業外費用		
支払利息	160,378	165,558
支払手数料	101,620	49,979
その他	65,096	50,026
営業外費用合計	327,095	265,565
経常利益	187,907	1,947,551
特別利益		
固定資産売却益	18,191	2,494
負ののれん発生益	936,750	148,677
その他	—	11,533
特別利益合計	954,941	162,705
特別損失		
減損損失	96,974	292,214
固定資産除却損	11,656	58,096
固定資産売却損	577	2,064
従業員特別補償金	75,000	—
従業員特別補償引当金繰入額	—	117,500
その他	—	31,595
特別損失合計	184,207	501,470
税金等調整前当期純利益	958,642	1,608,787
法人税、住民税及び事業税	211,143	171,155
法人税等調整額	21,036	19,861
法人税等合計	232,179	191,016
当期純利益	726,462	1,417,771
非支配株主に帰属する当期純利益	3,668	5,942
親会社株主に帰属する当期純利益	722,794	1,411,829

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	726,462	1,417,771
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	18,122	△3,120
その他の包括利益合計	18,122	△3,120
包括利益	744,584	1,414,650
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	740,916	1,408,708
非支配株主に係る包括利益	3,668	5,942

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,948,088	2,663,333	6,868,424	△22,637	13,457,207
当期変動額					
剰余金の配当			△277,741		△277,741
親会社株主に帰属する当期純利益			722,794		722,794
自己株式の取得				△91	△91
自己株式の処分		1,211		1,333	2,544
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減					
連結子会社株式の取得による持分の増減		△421,636			△421,636
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△420,425	445,052	1,241	25,869
当期末残高	3,948,088	2,242,908	7,313,477	△21,396	13,483,077

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	266	266	223,125	13,680,600
当期変動額				
剰余金の配当				△277,741
親会社株主に帰属する当期純利益				722,794
自己株式の取得				△91
自己株式の処分				2,544
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			1,668	1,668
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減			3,600	3,600
連結子会社株式の取得による持分の増減			△202,863	△624,500
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	18,122	18,122	—	18,122
当期変動額合計	18,122	18,122	△197,594	△153,602
当期末残高	18,388	18,388	25,531	13,526,997

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,948,088	2,242,908	7,313,477	△21,396	13,483,077
当期変動額					
剰余金の配当			△277,768	—	△277,768
親会社株主に帰属する当期純利益			1,411,829	—	1,411,829
自己株式の取得				△1,790	△1,790
自己株式の処分		1,106		1,139	2,246
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減					
連結子会社株式の取得による持分の増減		516	1,665		2,181
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	1,623	1,135,726	△650	1,136,698
当期末残高	3,948,088	2,244,531	8,449,203	△22,046	14,619,776

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	18,388	18,388	25,531	13,526,997
当期変動額				
剰余金の配当				△277,768
親会社株主に帰属する当期純利益				1,411,829
自己株式の取得				△1,790
自己株式の処分				2,246
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動			5,942	5,942
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減			2,555	2,555
連結子会社株式の取得による持分の増減			△2,181	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,120	△3,120	—	△3,120
当期変動額合計	△3,120	△3,120	6,315	1,139,894
当期末残高	15,268	15,268	31,847	14,666,891

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	958,642	1,608,787
減価償却費	930,916	1,057,436
のれん償却額	83,842	53,104
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△3,024
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,800	88,199
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,780	△67,038
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,000	11,000
従業員特別補償引当金の増減額(△は減少)	—	94,000
受取利息及び受取配当金	△65	△68
支払利息	160,378	165,558
雇用調整助成金	△36,284	—
受取保険金	△71,469	△17,054
有形固定資産売却損益(△は益)	△17,614	△430
固定資産除却損	11,656	58,096
減損損失	96,974	292,214
支払手数料	101,620	49,979
負ののれん発生益	△936,750	△148,677
その他の特別損益(△は益)	75,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	△327,405	△328,055
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,051,714	71,272
その他の資産の増減額(△は増加)	△420,727	575,402
仕入債務の増減額(△は減少)	56,849	46,929
未払又は未収消費税等の増減額	47,855	82,103
その他の負債の増減額(△は減少)	△846,502	255,416
小計	1,921,649	3,945,153
利息及び配当金の受取額	65	68
利息の支払額	△160,813	△162,460
雇用調整助成金の受取額	38,622	—
保険金の受取額	71,469	28,588
法人税等の支払額	△451,186	△200,716
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,419,807	3,610,633

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,000	—
有形固定資産の取得による支出	△1,102,047	△1,026,748
有形固定資産の売却による収入	22,964	2,494
無形固定資産の取得による支出	△73,860	△205,209
資産除去債務の履行による支出	—	△10,300
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△58,421
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	3,887,095	—
債権譲受けによる支出	△1,500,000	—
その他	29,643	17,234
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,260,795</b>	<b>△1,280,950</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,100,000	△1,484,850
長期借入れによる収入	6,926,600	3,180,000
長期借入金の返済による支出	△5,323,212	△3,894,944
リース債務の返済による支出	△303,510	△308,289
自己株式の取得による支出	△91	△1,790
配当金の支払額	△277,684	△277,869
非支配株主への配当金の支払額	△2,000	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△293,750	—
子会社の自己株式の取得による支出	△330,750	—
預り保証金の純増減額(△は減少)	△204,587	△1,175,293
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△908,985</b>	<b>△3,963,037</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,771,617	△1,633,354
現金及び現金同等物の期首残高	3,452,681	5,224,298
現金及び現金同等物の期末残高	5,224,298	3,590,943

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは運営事業、開発事業、福利厚生事業、リゾート関連事業及びこれらに付帯するサービスを行っており、さらに運営事業をホテル運営事業とゴルフ運営事業に区分しております。したがって、当社グループは、事業部門を基礎とした事業の種類別セグメントから構成されており、「ホテル運営事業」、「ゴルフ運営事業」、「リソルの森(CCRC)事業」、「福利厚生事業」、「再生エネルギー事業」、「投資再生事業」の6つを報告セグメントとしております。

なお、当連結会計年度より報告セグメントを以下のとおりに変更しております。

(セグメント区分の変更)

第3四半期連結会計期間における事業譲渡により、報告セグメントを従来の「ホテル運営事業」の一部を「ゴルフ運営事業」に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。



3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

I 前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注 2)
	ホテル運営事 業	ゴルフ運営事 業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生事業	再生エネル ギー事業	投資再生事業	計		
売上高 (1) 外部顧客 への売上高	7,521,965	6,093,018	3,490,882	874,783	125,656	3,955,218	22,061,525	—	22,061,525
(2) セグメン ト間の内部 売上高又 は振替高	73,103	78,434	49,200	29,275	—	7,200	237,214	△237,214	—
計	7,595,068	6,171,453	3,540,083	904,058	125,656	3,962,418	22,298,739	△237,214	22,061,525
セグメント 利益又は損 失(△)	△1,152,385	685,767	185,847	2,996	49,512	1,289,883	1,061,622	△873,715	187,907

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△873,715千円には、セグメント間取引消去△194,052千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△679,662千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。
- (2) 調整額に含めた資産のうち、主なものは、親会社での余資金運用(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

Ⅱ 当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額(注 2)
	ホテル運営事 業	ゴルフ運営事 業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生事業	再生エネル ギー事業	投資再生事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客 への売上高	12,349,224	8,084,150	3,658,607	903,637	97,151	624,401	25,717,173	—	25,717,173
(2) セグメン ト間の内部 売上高又 は振替高	78,838	44,019	41,412	30,928	—	12,423	207,622	△207,622	—
計	12,428,062	8,128,170	3,700,019	934,566	97,151	636,824	25,924,796	△207,622	25,717,173
セグメント 利益	1,235,944	1,070,675	243,401	45,654	1,729	40,669	2,638,074	△690,522	1,947,551

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△690,522千円には、セグメント間取引消去△110,867千円及び各報告セグメントに配分していない全社損益△579,655千円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。
- (2) 調整額に含めた資産のうち、主なものは、親会社での余資金運用(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

(注) 2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

【関連情報】

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC) 事業	福利厚生 事業	再生エネル ギー事業	投資再生事 業	全社	合計
減損損失	96,974	—	—	—	—	—	—	96,974

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC) 事業	福利厚生 事業	再生エネル ギー事業	投資再生事 業	全社	合計
減損損失	43,092	39,016	—	—	—	210,105	—	292,214

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC) 事業	福利厚生 事業	再生エネル ギー事業	投資再生事 業	全社	合計
当期償却額	—	53,104	30,738	—	—	—	—	83,842
当期末残高	—	364,497	—	—	—	—	—	364,497

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC) 事業	福利厚生 事業	再生エネル ギー事業	投資再生事 業	全社	合計
当期償却額	—	53,104	—	—	—	—	53,104	53,104
当期末残高	—	311,392	—	—	—	—	311,392	311,392

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自2022年4月1日至2023年3月31日)

「ゴルフ運営事業」において、当連結会計年度に関西カントリー株式会社、株式会社三木よかわカントリー及びMAG株式会社を取得し連結子会社としました。これに伴い、負ののれん発生益936,750千円を計上しております。

当連結会計年度(自2023年4月1日至2024年3月31日)

「ゴルフ運営事業」において、当連結会計年度に株式会社人間カントリー倶楽部を取得し連結子会社としました。これに伴い、負ののれん発生益148,677千円を計上しております。

(収益認識の時期別に収益の分解情報を示す場合)

前連結会計年度(自2022年4月1日至2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額	連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
一時点で移転される財	7,521,965	5,872,177	3,363,634	135,025	125,656	3,948,657	20,967,117	—	20,967,117
一定の期間にわたり移転される財	—	220,841	127,247	739,758	—	6,560	1,094,408	—	1,094,408
顧客との契約から生じる収益	7,521,965	6,093,018	3,490,882	874,783	125,656	3,955,218	22,061,525	—	22,061,525
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,521,965	6,093,018	3,490,882	874,783	125,656	3,955,218	22,061,525	—	22,061,525

当連結会計年度(自2023年4月1日至2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額	連結 損益計算書 計上額
	ホテル 運営事業	ゴルフ 運営事業	リソルの森 (CCRC)事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	投資再生事業	計		
一時点で移転される財	12,349,224	7,726,369	3,520,019	210,185	97,151	618,309	24,521,260	—	24,521,260
一定の期間にわたり移転される財	—	357,780	138,587	693,452	—	6,091	1,195,912	—	1,195,912
顧客との契約から生じる収益	12,349,224	8,084,150	3,658,607	903,637	97,151	624,401	25,717,173	—	25,717,173
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,349,224	8,084,150	3,658,607	903,637	97,151	624,401	25,717,173	—	25,717,173

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,430.35円	2,634.33円
1株当たり当期純利益	130.11円	254.13円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	722,794	1,411,829
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	722,794	1,411,829
普通株式の期中平均株式数(千株)	5,555	5,555

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(その他)

役員の異動

①代表取締役の異動

該当事項はありません。

②その他の役員の異動

・新任取締役候補者

社外取締役 海藤 明子

・退任予定取締役

社外取締役 川村 豊

③監査役の異動

該当事項はありません。

④就任及び退任予定日

2024年6月27日

※詳細につきましては、2024年5月9日公表の「役員の異動に関するお知らせ」をご参照ください。